



町長のしごと日記

第83号

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【亡き九重親方を偲び合掌・・・】

養殖昆布の収穫も終盤を迎え、七月下旬から暑さが日に日に厳しくなってきました。

七月前半の天候不順により、作業が遅れるかと心配されましたが、天候の回復と、漁業者さんの頑張りで、概ねお盆前に収穫を終えるところです。

七月二十六日(火)に第二青函トンネル構想の推進等を目的に、小野寺教育長と青森県中泊町と外ヶ浜町を表敬訪問いたしました。

午前中に中泊町役場庁舎を訪問し、濱館豊光町長等とお話をする事ができ、私の方から当町の取り組み状況や現在の青函トンネルが抱えている課題について説明をさせていただきました。

濱館町長からは、青森県側の過去の経緯もあり、動きづらい面もある旨のお話がありましたが、構想の実現に向け津軽半島全体で推進できるように連携すること

で、情報共有をすることができました。

中泊町とは、千代の富士杯相撲大会などを通じて、子どもたちの交流を行ってきておりますが、今後より一層、子どもたちの交流促進を進めることとしております。余談ですが、濱館町長は元青森県の職員で現三村青森県知事の秘書をされた方です。

経験とアイデアが豊富で、特産品のメバルを丸々一匹使用した「メバル御膳」などユニークな取り組みが、大変参考になりました。

午後からは、外ヶ浜町の役場庁舎を訪問し、山崎結子町長とお話をする事ができました。

外ヶ浜町は、青函トンネルの青森県側の工事基地として永く交流のありました元三厩村と蟹田町平館村が合併してできた町であります。

山崎町長とは率直な意見交換をすることができ、第一青函トンネルの必要性に

ついても理解をいただいたところであります。

七月二十七日(火)は、朝早く新幹線で東京に向かい、午後からこの度の選挙で当選されました、参議院議員(長谷川岳議員、船橋利実議員、徳永エリ議員、横山信一議員)の事務所を訪問し、お祝いを申し上げてきました。

七月二十八日(木)・二十九日(金)には、友好町の長野県木曾町を表敬訪問し、原町長等と意見交換をする機会をいただきました。今、木曾町とは職員の相互交流研修を行っており、木曾町から当町の産業課へ田代裕貴さんが、当町から木曾町へは、白川人さんが派遣されております。

久々に白川さんの元気な顔を見ることができ、楽しく研修している姿がたくましく思えました。

来年の三月には、研修を終えることとなりますが、一回り大きく成長して帰ってくることを期待するもの

であります。

七月三十一日(日)、東京谷中にある曹洞宗寺院の玉林寺で行われた、故九重親方の七回忌法要に参列をさせていただきました。

東京は朝から三十度を超える暑さとなりましたが、親方が亡くなる前にお会いした記憶が蘇り、大変暑かった名古屋の宿舎での事が思い出されました。

その時も木曾町へ出かける用務があり、その足で名古屋の九重部屋を訪問いたしました。それが生前の九重親方との最後となりました。

自分が町長選挙に出た時、頑張れと応援を受け、今、こうして町長の職に就かせていただき、出来ればもう少し、親方と福島町の事を語り、共にまちづくりを進めたかった。

改めて、横綱千代の富士・九重親方の故郷に対するご支援とご功績に感謝申し上げます。

です。